

きさらづ市民ネットワーク 市議会議員

3月議会

# 田中のりこの議会速報



◆発行／きさらづ市民ネットワーク ◆木更津市真舟 4-19-24 TEL&FAX 36-0677

◆発行日／2013年3月23日 ◆田中のりこHP／

田中のりこと市民ネット

検索



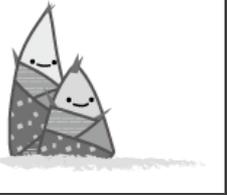
福島原発事故関連 放射線量測定

公園

学校

学校給食

## 木更津市の対策・対応



公園・運動施設・道路

●木更津市(放射線対策班)が調べた「高線量想定箇所測定」の状況は？

市】公園 26、その他の運動施設や道路側溝等 13箇所測定(2013年3月6日現在)。スロープや階段の下、枯葉や土砂が側溝で堆積など、放射性物質を含んだ土砂等が周辺から流れ込み集積しやすい場所で高線量だが、ごく限られた範囲。(測定や対応結果の詳細は木更津市のHP参照)

●放射線対策班の対応は？

市】真舟中央公園など4公園で対処方針を超える所は、土の入れ替えなどをし、再測定。線量が下がったことを確認済。

●学校の測定で、測定箇所の一部変更の理由とその後の対応は？

市】学校及び幼稚園での通常の学習活動や生活などに支障はない。清川中は比較的放射線量の高い箇所は変更し、その付近を3ヶ月測定。元の地点より低かったため、当初の地点に戻し、数値変化の監視中。

●測定結果の値だけでなく、変更理由もHPに掲載されると市民は安心する。請西小の枯葉集積場(右下写真)は高線量だった結果やその後の対応もHPで公開されている。

同じ敷地内でも部分的に高線量箇所があることがわかった。他校の枯葉集積場は調べたか？

市】いいえ。学校等からの要望があれば検討。



安全確認後も念のため立入禁止↑

市立小中学校31校

●昨春、タケノコの出荷制限後の対策は？

市】出荷制限の解除の条件は、

- ①除染方法の確立
  - ②実際に除染処理を行った後の検査結果が、基準値未満であること
- 県や国でも試験研究しているが、汚染のメカニズム解明、除染方法の確立には至っていないのが現状である。

しかし、千葉県と林野庁との折衝により検討中。旧市町村を単位に、出荷の管理体制を整える。検査検体すべて基準値未満が条件という内容。今年は10検体測定する。

●旧市町村とは？

市】木更津、波岡、鎌足、清川、岩根、中郷、金田、富来田の8地区。

●10検体の測定に、地域のかたよりはあるか？

市】8地区から検体を選んで測定する。しかし、今年はまだ厚生労働省の出荷解除の条件①の除染方法の確立ができていないため、出荷制限解除には至らない。

学校給食

●学校給食の測定数は、6月は15検体、その後だんだん減り12月は4検体、減少した原因は？

市】食材選定の際、同産地の同食材は対象外としたため。1月から地元食材及び近隣産地の測定期間を短縮し、測回数は増えた。

●給食の検査結果を保護者に知らせているか？

市】今後、学校給食センターの給食食材一覧と一緒に、給食日より掲載したい。

●測定は、今後の不測の事態への迅速な対応ができ、検査に熟知した職員の人材育成となる。自校式給食の測定は馬来田小・富来田中だけ。仕入先や食材が統一できない課題の早期解決を願う。

タケノコ



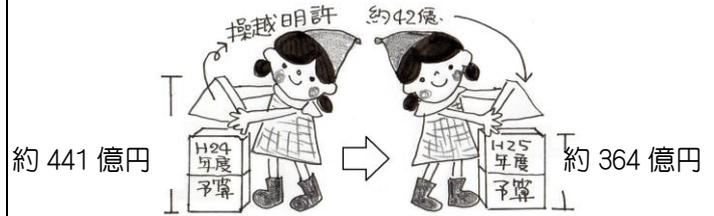
## 3月議会を終えて、伝えたいこと

H24年度当初予算 383億3千万円を増額補正して、補正後の予算 440億818万7千円

H25年度当初予算 360億7千万円を増額補正して、補正後の予算 363億8587万6千円

H24年度予算は3月議会で補正されて大幅増となった。地方公共団体の予算は、年度初めを当初予算という。1年を通して、足りなくなったり、余ったりする収支をみて、予算を補正し議会で審議する。単年度でお金の出し入りの区切りをつけるので3月末で決算となる。つまり、3月補正予算は、年度末決算のおよその額でもある(補足説明:決算が確定するのは9月議会)

1月に国が言った15か月予算とは、「繰越明許をしてH25年1月～H26年3月までに使えるように、補正予算を組みましょう」ということだった。



### お金の使い道を限定して、翌年度に回す

さて、24年度予算計上しても、もう年度末。会計は年度末で締めるから使えない。だから、「使い道が決まっているよ」と、はっきりさせて翌年度にそのお金を繰り越して使うことにすることを繰越明許という。H24年度補正予算の大幅増はこの繰越明許が多くを占める。

### 新たな追加事業 これから工事ラッシュ

H24年度予算の事業でH25年度に繰り越して行う主な事業

- ・東清小耐震補強及び校舎改修工事 
- ・中郷小・畑沢小耐震補強及び校舎改修工事 
- ・第二中・金田中耐震補強及び校舎改修工事 
- ・岩根中・太田中耐震補強及び校舎改修工事 
- ・高柳小・波岡小・鎌足小・富岡小屋内運動場耐震補強及び校舎改修工事 
- ・富来田中学校屋内運動場耐震補強及び改修工事 
- ・南清小校舎増築事業
- ・清見台小屋内運動場及びプール改修工事
- ・中郷中屋内運動場及びプール改築工事費
- ・保健相談センター耐震診断業務委託事業 
- ・金田公民館用地取得事業
- ・金田総合バスターミナル整備事業 **工事中**
- ・市道114号線舗装改修事業測定委託・改修事業
- ・市道122線歩道改良事業測量委託・改良事業
- ・公設地方卸売市場の施設耐震診断業務委託事業
- ・公共下水道の枝線管渠整備事業(金田東市街分)

### 15か月予算って何?

新政権となり、国は「建設資金だけに使える地域の元気臨時交付金をあげます。困っている行政には、90%国が出しますよ」と掲げた。通常、国や県からの補助金などをもらい、残りは市が借金をするか、貯金をくずすか、税収でやりくりする。財政力に余裕がない市町村にはおいしい話。木更津市は手を挙げた。

ところが、国はいまだ何%出すか通知がなく、結局、元気臨時交付金は60%と見込み、追加の補正予算を3月議会最終日に審議し可決された。甘い言葉には裏がある。財源は、国の試算によると、なんと職員の給料を減額した試算額に匹敵。まさしく人からコンクリート。

しかし、今回の補正のほとんどは耐震診断や耐震補強、行わなければならない事業を前倒した形だ。「人の命を守る事業を多くした」と執行部からの説明に、人からコンクリートとはいきれないと判断する。

【あとがき】新政権の施策で、今までなかなかできなかった事業をすすめることになった■3月議会では、2度予算を追加補正した。そのお金は、国からの補助の国庫支出金、市債(借金)、一般財源(税収や財政調整基金(貯金)など)でまかなう■多くの事業を一度にすすめることで、地方債の返済も一度に始まってくる■『小中学校の改築事業などで償還期間(借金の返済期間)は概

ね10年。据え置き期間は2年なので、3年後から元金の償還(借金の返済)が始まる。しかし、今後、国から収入の地方交付税の算入比率が有利になる利点もある。一時的に市債の発行増加が予想されるが、市債発行額の減少に努めたい』と執行部■公共施設など長く利用するものの費用は、住民負担も幅広い世代にと市債がある■市の将来を見据えた行財政運営か、議会でのチェック機能もより重要となる。